

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第7回定例会(令和6年9月定例会)

令和5年度決算	2	決算特別委員会	4
第5回臨時会	6	第6回臨時会・第7回定例会	7
一般質問(4人)	9	議員活動報告	13
編集後記	14		

議会広報
令和6年10月
第53号



川内こども園です! //

応援よろしくお願いします! //

五戸の未来シリーズ②

川内こども園

町内の保育園・幼稚園のご協力を得て
連載している五戸の未来シリーズ。
今回は「川内こども園」さん。
写真は園で行ったお祭りの様子です。
自分たちで作った山車を引いて元気
いっぱい練習しました。

©東京ハイジ/五戸町

令和5年度決算を認定

<財源構成>

自主財源 26.8% (町税など)	依存財源 73.2% (地方交付税など)
-------------------------	----------------------------

各会計の決算状況

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		107億1082万円	105億61万円	2億1021万円
特 別 会 計	後期高齢者医療	5億1720万円	5億527万円	1193万円
	国民健康保険	20億2640万円	20億1361万円	1279万円
	介護保険	25億987万円	23億5690万円	1億5297万円
	下水道事業	3億4094万円	3億16万円	4078万円
	農業集落排水処理 施設事業	1億4221万円	1億3178万円	1043万円
	浄化槽事業	3291万円	2650万円	641万円
	簡易水道事業	9959万円	9517万円	442万円
	住宅用地造成事業等	931万円	909万円	22万円
	ケーブルテレビ事業	5251万円	5035万円	216万円
病院事業会計		収 入	支 出	差 引
企 業 会 計	収益的収支	23億1828万円	23億1643万円	185万円
	資本的収支	4億1393万円	6億1178万円	△1億9785万円

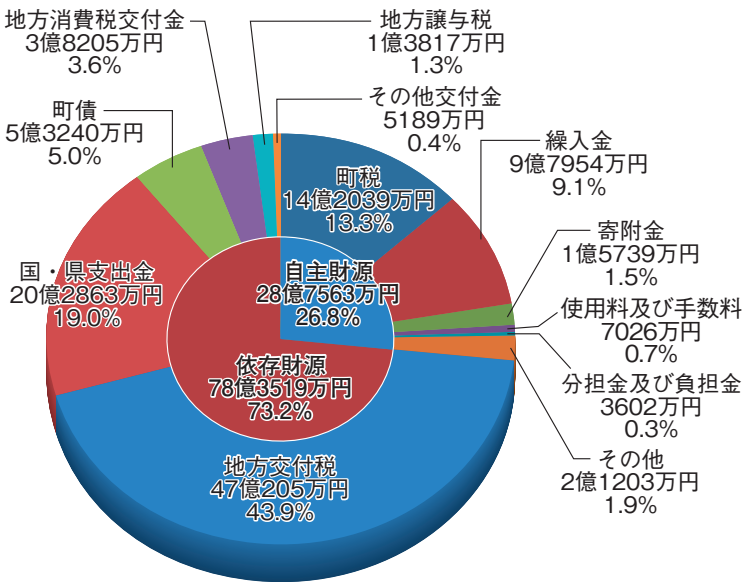
一般会計の自主財源である町税や繰入金などは26.8%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が73.2%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)に頼っています。

また、歳出の人件費や公債費(借入金返済)などの義務的経費は、歳出全体の38.1%を占め、前年度に比べ1億5466万9千円の増額となりました。

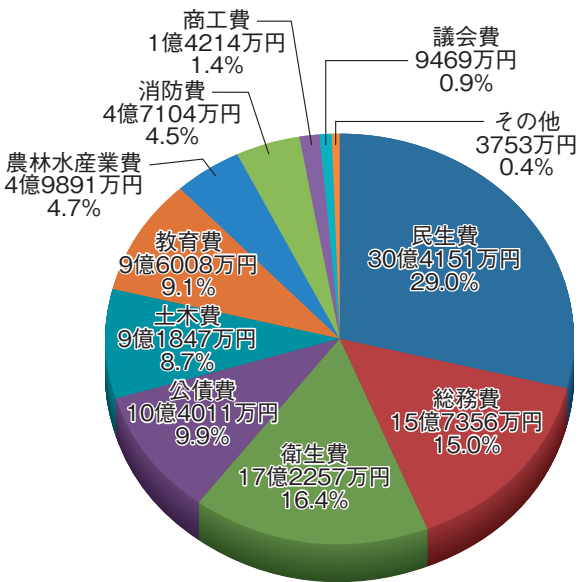
令和5年度決算状況

一般会計決算

歳入



歳出



町税等の未収金の状況

区 分	令和4年度末	令和5年度末	増減額
町税*	7290万円	7156万円	△ 134万円
放課後児童クラブ保護者負担金	0万円	0万円	0万円
給食費保護者負担金	239万円	241万円	2万円
ブドロク放牧場使用料	69万円	68万円	△ 1万円
道路占用料	0万円	0万円	0万円
町営住宅使用料及び共益費	237万円	379万円	142万円
土地貸付料(五戸台地分)	201万円	199万円	△ 2万円
奨学資金償還金	931万円	976万円	45万円
機構集積協力交付金返還金	7万円	9万円	2万円
後期高齢者医療保険料	42万円	50万円	8万円
国民健康保険税・返納金	8713万円	8836万円	123万円
介護保険料	318万円	237万円	△ 81万円
下水道受益者負担金・使用料	723万円	832万円	109万円
農業集落排水分担金・使用料	160万円	156万円	△ 4万円
浄化槽分担金・使用料	0万円	25万円	25万円
簡易水道使用料	527万円	1059万円	532万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	108万円	137万円	29万円
合 計	1億9565万円	2億360万円	795万円

*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額
※翌年度繰越分及び未還付額は除く

基金
一方、積立金である基金合計は、67億3376万円で、前年度に比べて5億4476万円増額となりました。
【積立金町民1人当たり43万円】

町債(借入金)の状況

会 計 名	令和5年度末
一般会計	91億266万円
下水道事業特別会計	20億1466万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	3億8145万円
浄化槽事業特別会計	1910万円
簡易水道事業特別会計	1億293万円
ケーブルテレビ事業特別会計	1180万円
病院事業会計	8億6398万円
合 計	124億9658万円
町民1人当たり	80万円

町債
町財政の借入金である町債合計は、124億9658万円で、前年度に比べて9億5244万円減額となりました。
【借入金町民1人当たり80万円】

基金(積立金)の状況

基 金 名	令和5年度末	基 金 名	令和5年度末
一般会計財政調整基金	27億9737万円	高齢者等肉用牛導入事業基金	573万円
減債基金(地方債償還のための積立)	6億9855万円	過疎地域持続的発展特別事業基金	1億9813万円
土地開発基金	1億3609万円	ふるさと納税寄附金基金	3億6623万円
泉山教育振興基金	57万円	森林環境譲与税基金	6538万円
木村秀政教育振興基金	113万円	暮らしの道路基金	1000万円
公共施設等整備基金	5億1047万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	4億4129万円
まちづくり特別事業基金	35万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
地域福祉基金	101万円	介護保険給付費準備基金	4億2304万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	下水道事業整備基金	0万円
人材育成基金	898万円	農業集落排水事業減債基金	0万円
肉用牛一貫経営支援基金	506万円	ケーブルテレビ事業基金	3922万円
地域振興基金	10億1862万円		
合 計			67億3376万円
町 民 1 人 当 た り			43万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

未収金(滞納)総額
2億360万円
令和5年度末の不納欠損額は2425万円で前年度に比べ714万円増額、処分後の未収金は、2億360万円で、町税と国民健康保険税で78.4%を占めています。

*【不納欠損】
債権者が死亡し相続人がいない場合や、今後徴収の見込みがたない場合、その金額を消滅させること。

令和5年度決算を審議

議員全員で構成する決算特別委員会（委員長：柏田匡智議員、副委員長：高奥浩明議員）を設置し、令和5年度の一般会計決算、各特別会計決算及び病院事業会計決算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



議事進行する 柏田 匡智 委員長

決算に対する 主な質疑

一般会計歳入

町税不納欠損額

問 豊田孝夫委員

軽自動車税の不納欠損額が107万6200円。これには滞納繰越された過年度分も含まれるが、納めてもらえるような行動は起こしているか。

答 小野寺税務課長

他の税も含めて、役場の閉庁後も2時間税務課窓口を開ける「夜間納税相談」を月2回行い、納

税の時間を設けている。他にも不納欠損に至るまでに催促電話の実施や県の滞納整理機構との連携で納税を促している。

*夜間納税相談

役場税務課にて

毎月第2・4火曜日

午後5時～午後7時

に実施中です。

ぜひご活用ください。

一般会計歳出

【総務費】

職員ストレスチェック 業務委託料

問 川崎七洋委員

実施の結果、職員の皆様がどのような健康状態にあったか。

答 石田総務課長

職員167名にアンケートを実施しており、分析結果を各課へフィードバックしている。また、高ストレス者には医師の面談を促している。高ストレ

ス者と休職者は年々増加している。



コンビニ収納手数料

問 豊田孝夫委員

合わせて100万円程かかっているようだが、コンビニでの税金の収納実績は。

答 小野寺税務課長

令和5年度実績は町税全体の5%、約8200万円がコンビニで納付された。割合は税の種類によっても異なり、例えば軽自動車税は21%がコンビニで納付されている。

コミュニティ活動 事業費補助金

問 高奥浩明委員

この補助金の内容は。

答 手倉森総合政策課長

コミュニティ活動に必要な施設・設備の整備を補助するもの。令和5年度は川原町自治会（刈払機、除雪機、発電機等）と新町自治会（自治会館建設）の2団体に交付。



新町自治会館
(令和5年度完成)

省エネルギー型 防犯灯設置補助金

問 川崎七洋委員

毎年の補助で順調に街灯のLED化が進んでいると思われるが、補助はあとどれくらい継続する見込みか。

答 石田総務課長

整備が進んでいるため新規設置箇所数は減少傾向にあるが、自治会からの要望がある限り続けていきたいと考えており、終了時期はまだ決めていない。



自治会へ設置額の3分の2
(上限30万円)を補助

特別定額給付金 (新生児給付分)

問 三浦俊哉委員

給付件数と広報ごのへまち掲載の昨年度出生数が異なるが、この差は。

答 志村住民課長

年度途中に給付要件を満たしたケースがあったため、数字に差が出たものである。

**外出促進相乗り
タクシー運賃負担金**

問 川崎七洋委員

令和4年度実績より30万円ほど少なく、利用者が減っていることになる。この原因は。

答 手倉森総合政策課長

令和5年度は令和4年度より実施期間が短かったことと、利用方法を変更したことにより申請手続きの手間が増えてしまったことが原因と分析している。今後やり方の見直し等、検討を重ねていく。

【民生費】

倉石温泉改修工事費

問 鈴木隆也委員

内容の詳細は。

答 竹洞財政課長

倉石温泉の建物本体の工事費が設計額で1億1400万円余。内容としては、防水改修、外装・内装改修、建具改修、家具改修、塗装改修、電気設備改修、ケーシング管を含む機械設備改修など。その他、タイヤボイラーの設置工事が建屋を含んで5056万円余。

問 鈴木隆也委員

湯量は確保できているか。

答 大久保副町長

ケーシング管を入れたことで45℃のお湯を毎分150ℓ程度汲み上げられている。ただし除菌のための循環の中で多少温度が下がるので、タイヤボイラーを用いて沸かす対応をとっている。

**放課後児童クラブ
運営業務委託料**

問 佐々木喜克委員

委託料のうち必要経費を除く業者の利益はどの程度か。様々高騰する中、支援員の人件費を圧迫することはないか。

答 赤坂福祉課長

委託契約の内容を計算したところ、人件費等が約9割、その他固定費等となり、これらを除く業者利益分は1〜2%程度ではないかと推測される。令和6年度は最低賃金上昇に配慮した内容で契約しており、今後も支援員に影響がないような形で契約していく。

**上市川地区農用地
保全計画策定支援、
産直施設関係業務
委託料**

問 豊田孝夫委員

これらの内容は。

答 小村農林課長

保全計画は、新しい産直施設と医療施設の建設地である北市川地区について、今後の人流増加を見込んで地域の経済や農業の関連施設の整備をしていくため策定したもの。また産直施設関係として、建物の概算費用を積算する基本設計、用地の分筆に対応するための用地測量、建物の支持地盤を確認する地質調査を行った。

**鳥獣被害対策実施
隊員報酬**

問 高奥浩明委員

この内容と、有害鳥獣駆除の実績を伺いたい。

答 小村農林課長

鳥獣対策の隊員の報酬として年間で268万円。これは令和4年度より少なく、日額報酬としていたものを猟友会の要望に基づき時間制としたためである。出勤回数は令和4年度より多い767回。鳥獣の捕獲実績はクマ7頭、ニホンジカ4頭、イノシシ3頭、ハクビシン10匹、アライグマ23匹、カラス261羽。

問 鈴木隆也委員

令和4年度との捕獲頭数の増減は。

答 小村農林課長

頭数は大きく変わっていないものの、クマが2頭増えた。また、イノシシが3頭捕獲され、五戸町では初めての捕獲となった。

農家支援持続化給付金

問 大久保和夫委員

この内容は。

答 小村農林課長

コロナ禍での需要減少や資材等の価格高騰の影響を受ける農業者への県の補助を使った支援事業。農業収入に応じ4段階の設定で1万円〜15万円を支給した。

【商工費】

**中心市街地にぎわい
創出事業業務委託料**

問 川崎七洋委員

この内容は。また、町内にも様々なイベントを行って盛り上げたいと考える人がいるが、当該事業と連携できるか。

答 手倉森総合政策課長

歴史みらいパークを中心に多世代で体感・交流ができる場を提供しにぎわいを創出する目的で事業者に委託しているもの。マルシェやハロウィンイベントを開催している。



今年度も実施中。詳しくはHPをご覧ください。



一般質問(11ページ)でも
取り上げています。



新産直の完成イメージ

熱意のある方は大事にしたいと考えており、当該事業者へ相談することや、別のイベント開催補助金等の活用も提案するなどしていきたい。

【土木費】

簡易パーキング 清掃業務委託料

問 鈴木隆也委員

この業務内容は。

答 小保内建設整備課長

倉石温泉前の簡易パーキングの管理業務は、月14回ほどのトイレ清掃や年2回の草刈り作業等を行っている。現在トイレが故障しているが、所有者である青森県には報告済みで、令和6年度には修繕される予定である。

【教育費】

部活動の在り方に関する検討委員謝礼

問 川崎七洋委員

委員の構成、会議の頻度及び内容は。

答 櫻井教育課長

委員は各中学校の校長先生、スポーツ協会会長、町スポーツクラブ会長、並びに職員等。

会議は令和5年に2回実施しており、休日の部活動の地域移行について、こういった方が受入先となれるかなどを協議しているが、未決定であり検討を継続している状況である。また、中学校が統合に向かうに当たって、それまで従来どおり各校ごとの活動とするのか、今から合同部活動の形をとるのかといったことも検討している。

町子ども会育成 連合会補助金

問 鈴木隆也委員

この補助金の使われ方は。

答 櫻井教育課長

町内各子ども会の運営費の補助・支援を行っている「子ども会育成連合会」への補助金。連合会

本団では味噌作りや凧作りイベントの費用等として活用されている。ただ、連合会から補助された各子ども会における使途は把握していないので、今後は事業報告を受けるなど運用の見直しを行いたい。

病院事業会計歳入 長期貸付金返還金

問 三浦專治郎委員

この内容は。

答 上山総合病院事務局長

薬剤師を志す者の修学資金の貸付事業において、五戸総合病院に勤務する場合免除されるものであるが、薬剤師課程6年生の1人が当院で勤務しない方針となったことから貸付していた5年分を返還いただいたもの。薬剤師ではあと1人が継続して貸付を受けており、現時点では免許取得後に当院に勤務いただける予定で進んでいる状況。

第5回 令和6年7月 臨時会

7月18日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提出案件

工事請負契約の締結 1件

① 木村秀政ホール改修工事

・(株)東北産業

8904万2030円

審議の結果

全員賛成で可決



子育て世代の交流空間へ

【改修工事概要】

・ソファ、テーブル等を設置し交流空間を創出
・遊具、授乳室の設置
・一部トイレの子ども用サイズへの改修
・木村博士に関する資料の展示に向けたエントランスホールの改修
など

令和6年度補正予算 1件

① 一般会計補正予算(第3号)

・補正額(増額)

1543万1千円

・予算総額(補正後)

100億2004万1千円

【主な内容】

・地球温暖化対策実行計画策定支援業務委託料

943万2千円

・災害廃棄物処理計画策定業務委託料

456万5千円

・防災行政無線屋外拡声子局修繕工事費

109万9千円

審議の結果

全員賛成で可決

第6回 令和6年8月 臨時会

8月19日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提出案件

工事請負契約の締結 1件

① 上市川地区産直施設用地造成工事

・(株)沢田建設

5549万5千円

審議の結果

全員賛成で可決

令和6年度補正予算 1件

① 一般会計補正予算(第4号)

・補正額(増額)

132万1千円

・予算総額(補正後)

100億2136万2千円

【主な内容】

・モンゴル国への訪問旅費

132万1千円

審議の結果

全員賛成で可決

第7回 令和6年9月 定例会

9月5日から11日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 14件			
原案可決	同意	承認	認定
10件	2件	0件	2件

第7回定例会初日の令和6年9月5日に、五戸町選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。

町選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。

● 選挙管理委員及び同補充員の選挙

【選挙管理委員】

◎ 小泉 壮悦氏 (75歳)

◎ 根岸 英治氏 (65歳)

◎ 太田 博之氏 (60歳)

◎ 安部真里子氏 (55歳)

【選挙管理補充員】

◎ 佐々木昭彦氏 (71歳)

◎ 畑山 拓也氏 (69歳)

◎ 三浦 照男氏 (73歳)

◎ 三浦真木子氏 (62歳)



町長提出案件

報告 3件

① 町道倉石南線で発生した車両物損事故の損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

・損害賠償額

3960円

② 令和5年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

③ 令和5年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

(報告は採決しません)

規約の変更 1件

① 青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更

【内容】

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正により、現行の被保険者証が廃止されることに伴い、当該規約の変更について協議するもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 1件

① 五戸町国民健康保険条例の一部改正

【内容】

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正による国民健康保険法の一部改正に伴い、必要の改正を行うもの

審議の結果

全員賛成で可決

令和6年度補正予算 7件

① 一般会計補正予算(第5号)

・補正額(増額)

3億2726万7千円

・予算総額(補正後)

103億4862万9千円

【主な内容】

・総合窓口通信環境整備業務委託料 132万円
・病院事業会計負担金 2億4190万1千円

・保健衛生業務システム
標準化作業等業務委託
料
611万6千円

・道路環境整備業務委託
料
3000万円

・準要保護児童、生徒給
食援助費
386万9千円

②後期高齢者医療特別会
計補正予算(第1号)
・補正額(増額)
42万1千円

・予算総額(補正後)
5億347万1千円

【主な内容】
・時間外勤務手当
24万4千円

③五戸町国民健康保険特
別会計補正予算(第2
号)
・補正額(増額)
606万5千円

・予算総額
21億1195万2千円

【主な内容】
・保険給付費等交付金償
還金
591万9千円

④五戸町介護保険特別会
計補正予算(第1号)
・補正額(増額)
127万9千円

・予算総額
24億4130万円

【主な内容】
・職員諸手当
78万3千円

⑤五戸町簡易水道事業会
計補正予算(第2号)
○収益的支出
66万円増の
1億3437万6千円

【主な内容】
・排水及び給水費の追加
⑥五戸町下水道事業会
計補正予算(第2号)
○収益的収入
258万1千円増の
4億3075万9千円

【主な内容】
・過年度損益修正益の追加
○収益的支出
283万円増の
4億4731万6千円

【主な内容】
・管渠費の追加
○資本的支出
312万4千円増の
3億4518万3千円

【主な内容】
・病院施設整備費の追加

【主な内容】
・長期貸付金返還金の追
加
○資本的支出
294万3千円増の
6億9816万7千円

【主な内容】
・病院施設整備費の追加

審議の結果
全員賛成で可決

認定 2件

①令和5年度五戸町一般
会計・特別会計歳入歳
出決算認定について

②令和5年度五戸町病院
事業会計決算認定につ
いて
(詳細は2～3ページ、
審議内容は4～6ページ)

審議の結果
全員賛成で認定

町長追加提出案件

贈与の受納 1件

①負担付きの贈与の受納
【内容】
・青森県から受ける旧五
戸高等学校の土地・建
物等の負担付きの贈与
について議会の議決を
求めるもの



◎中山竹千代氏(68歳)
・大字上市川字石上
【再任】

主な職歴等

青森県農業共済組合

組合長理事

五戸町立上市川小学校

P T A会長

審議の結果
全員賛成で同意

任期
令和6年9月19日
令和9年9月18日

主な職歴等
三菱製紙株式会社
社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会
八戸工場



◎金 正夫氏(71歳)
・大字切谷内字大森
【再任】

②固定資産評価審査委員
会委員の選任

任期
令和6年10月1日
令和10年9月30日



八戸学院野辺地西高等学校の移転
に向け動き出しました

一般質問

◆町道の保全管理方法は

町長 道路利用者等からの情報提供により
危険箇所の現地確認と補修等を実施



とよ た たか お
豊田 孝夫 議員

質問要旨

町道の路肩やのり面に生えている樹木や草本類の管理について、通行上の支障になる場合や事故を誘発する原因になりうる箇所が散見される。対策について問う。

質問①

町道の保全管理と現状把握方法は。

答 若宮町長

町担当職員による現地調査、及び自治会からの要望や道路利用者の情報提供に基づく現地確認を実施し、舗装補修など保全管理を行っている。

質問②

町道の路肩やのり面に生えている樹木や草本類の伐採や除去の取組は。

答 若宮町長

交通量の多い路線の支障木撤去や除草については業者委託。また、自治



会のボランティア活動による除草作業のほか、職員による除草と枝払い等を行っている。

質問③

大雨の被害等で側溝が壊され、走行に危険を感じる箇所がある。危険箇所を運転者に知らせる手段は。

答 若宮町長

大雨などの自然災害時には、職員の道路パトロールにより被害を確認し、危険箇所にはバリケードやカラーコーンなどを設置して運転者に注意喚起を行っている。

◆急傾斜地の崩落防止対策は

町長 点検は年に1回、
県が目視で行っている

質問要旨

急傾斜地の崩落により五戸川がせき止められると川原町地域に浸水のおそれがある。特に天満の崖や歴史みらいパーク裏の急傾斜地が崩落した場合のことを想定しての対策はあるか。

質問②

天満の崖の崩落防止対策であるコンクリート工事の完工年月、及びその後の点検方法とその頻度は。また、天満の崖の規模は。

答 若宮町長

県指定の土砂災害警戒区域であり、天満後地区急傾斜事業で整備し、完工年月は平成8年3月。定期点検は年1回、基礎調査は5年に1回、それぞれ目視で行われている。

質問①

歴史みらいパーク裏から館、沢、野月につながる五戸川河畔の急傾斜地の崩落防止対策は。

答 若宮町長

この急傾斜地は県指定の保安林となっており、青森県が平成15年度から3か年にわたって予防治山事業で整備し、対策を施した。

提案、要望

センサーを活用するなど、より精度の高い点検を要望していただきたい。

質問③

町内の崩落の危険性のある箇所は。

答 若宮町長

県指定の土砂災害警戒区域として、急傾斜地91か所、土石流46か所。県のホームページや町のハザードマップで確認することができる。

質問④

川原町地区の指定避難所は旧五戸高等学校であった。新たに指定すべきでは。

答 若宮町長

川原町地区の施設の構造等を考慮すると難しく、現状は町立公民館等での受入を想定している。旧五戸高等学校への既存の高等学校誘致の進捗状況を見ながら、再度当該施設を避難所指定することについて関係者との協議・検討を進めていく。



たかおく ひろあき
高奥 浩明 議員

◆五戸高等学校 跡地の利活用

質問②

開校の時期、生徒の規模、財政負担の方針は。

答 若宮町長

移転の時期は令和9年4月、移転時の生徒数は最大300名の見込み。移転後の募集人員については未定。

答 若宮町長

旧五戸高等学校閉校前の令和2年末から検討を重ねてきた中で、学校法人光星学院が八戸学院野辺地西高等学校の存続方法を検討しているとの情報を得たため、旧五戸高等学校の跡地を活用した移転を提案したところ前向きな回答を得た。

令和6年7月22日に五戸町への誘致について同法人に要望書を提出、8月27日の同法人の臨時理事会にて移転の方針が決定された。



◆『五戸町空き家等対策計画』

質問①

計画における8月時点での進捗は。

答 若宮町長

情報発信は年12件の計画に対し、4件発信。空き家除去は年3件の計画に対し、10件の相談のうち9件調査し7件が補助対象となると確認。

空き家バンクは令和15年までに新規登録100件、成約50件の計画に対し、3件の相談を受けたが、条件合わず新規登録ゼロ。成約は1件。

質問②

老朽危険度判定ランクD(緊急度が極めて高く、解体等が必要と思われる、対策を要する)の空き家91件への対策は。

答 若宮町長

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険と

◆『五戸町有機農業実施計画』

質問①

令和5年度の施策と成果は。

答 若宮町長

生産から消費までの工程間連携に向けた「五戸町有機農業推進協議会」の設立、学校給食への有機栽培農産物導入の検討。

質問②

令和9年度(計画開始から5年後)に目指す目標に対する現状は。

答 若宮町長

有機JAS取得者は4名の目標に対し、現状ゼロ。取得条件が非常に厳しいため調査研究を重ね、令和9年度の取得を目指す。有機農産物及び加工食品の販路確保についてはこの有機JASの取得が前提となる。

質問③

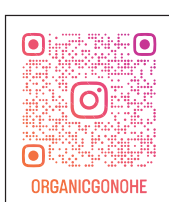
有機農業者は5名の目標に対し、3名(1名増)。

有機栽培面積は5haの目標に対し、3.99ha(0.25ha増)。

有機農産物販売数量は15tの目標に対して、19t(6t増)。

答 若宮町長

有機農業推進事業に関わるSNSの開設と発信。給食センターにゴボウ、ニンジン、キュウリを納品。9月にジャガイモを納品予定。



有機農業推進SNS
(五戸町Instagram)



一般質問

◆消防団員の負担軽減対策は

町長 従来の活動に固執することなく
式典の時間短縮などを検討する



さ さ き よしかつ
佐々木 喜克 議員

質問①
現在の消防団の体制と再編計画の現状は。

答 若宮町長

本団、4大隊、27個の分団で構成され、定数570名に対し実員数407名が所属している。

再編計画における分団の合併については随時各分団、自治会と協議しているが、現在進行中の地域はない。車両の導入についても再編計画に基づき計画的に進めていくが、分団や地域の声も取り入れていきたい。

質問②

町が消防団に対し行っている施策は。

答 若宮町長

本団・大隊・分団にそれぞれ運営管理謝礼を支給しており、団員には消防車両の運転に必要な運転免許取得費の補助を行っている。

要望

家族の理解と協力があつてこそ消防活動なので、団員世帯への商品券等の贈呈があつてもいいのではないかと考える。また物価高を考慮し、分団運営費の設定の見直しも併せてお願いしたい。

質問③

各行事における団員の負担軽減についてどのような対策が必要か。

答 若宮町長

負担増加は全国的な問題であり、従来の活動に固執することなく、業務の見直しを行つていきたい。また、式典では早朝からの活動で非常に負担が大きいため、時間短縮などを検討していきたい。



◆放課後児童クラブへの不満・要望への対策は

町長 アンケートにて把握し、放課後児童支援員の研修等による質の向上に努めている

質問①

放課後児童クラブの利用状況と支援員の雇用状況は。

答 若宮町長

業務をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に委託し、町内に4か所設置している。

質問②

利用者からの不満や、要望は把握できているか。また、支援員の就労改善対策は。

答 若宮町長

直接届いた意見・要望もあるが、アンケートも実施して把握に努めている。対処できる内容はできる限り早期に対処しており、児童同士のトラブルには保護者への速やかな状況説明と面談によって解決に努め、支援員の資質向上の要望については研修の実施による対応力向上を図っている。

なお、支援員に対し就労環境改善計画は作成していないが、処遇改善手当の支給や、最低賃金上昇を見越して上乗せした契約をしている。

質問③

教育委員会との連携、並びに防災体制は。

答 若宮町長

毎年、合同連携会議、合同研修会を開催し、資質の向上と情報共有を図っている。災害時には小学校、教育委員会と連携し電話やアプリを通じて保護者への連絡体制が構築されている。

要望

主な期間が1、2年生と短いため問題が表面化しにくい特性があるが、預かり時間の変更や、お弁当の宅配、楽しいと思える場所の創出など、重要な課題が多々ある。実態に合わせ早期に解決していただきたい。

設置区域	利用者		支援員
	定員	平日平均	
五戸小学校学区	80名	59名	5名
倉石小学校学区	40名	11名	2名
切谷内小学校学区	40名	6名	2名
上市川小学校学区	30名	26名	2名

◆倉石温泉運営への五戸町の立場は

町長 施設を貸すだけで、経営に関与するものではない



すずき りゅうや
鈴木 隆也 議員

「質問要旨」

倉石温泉は施設老朽化に伴い営業を中断し、一時は倉石温泉運営事業検討委員会から廃止もやむなしと町に答申された。

しかし、倉石地区住民を中心とした存続の要望活動を受け、若宮町長は今回限りと条件を付けて大規模改修を判断し、新たな事業者によって営業が再開された。

これは大変喜ばしいことではあるが、あらゆるものが高騰する昨今、浴場施設を管理運営することは大変なものであると考えられるため質問する。

質問①

施設は必ず老朽化する。施設維持の費用負担はどこに所在するのか。

また、今後必ず訪れるであろう大規模改修のために、予算を積み立てていく必要があると思うがいかがか。



答 若宮町長

今年4月に民間事業者と施設の使用貸借契約を締結し、7月10日から温泉事業を再開している。

この使用貸借契約の中で、町は貸借期間中、賃借物件の維持補修の責めを負わないこととなっているので、温泉事業を継続するための施設維持に関する費用は、事業者に負担してもらう。

また、この契約に先立つて、4月1日から倉石温泉条例の廃止条例が施行されており、町が設置する公の施設としての倉石温泉は廃止されていることから、今後、町が費用を負担して当該施設の大規模改修を行うことは想定していない。

質問②

施設の利益を上げるための誘客の取組は事業者の努力だけでは限界がある。地域を巻き込んだ取組が不可欠ではないか。

町は事業者と地域住民の間を取り持ち、事業者、地域、町が共になり、倉石温泉を魅力的なものに作り上げていく環境を整える必要があると考えるが、いかがか。

答 若宮町長

現在倉石温泉は民間事業者が運営している。町は施設を貸すだけで、その経営に関与するものではないことから、施設の利益向上のために町が主体的に何らかの役割を担うということは今のところ考えていない。

ただし、当該事業者と地域住民が連携して地域活性化に資する活動を行う場合などには、町として支援・協力したい。

◆切谷内小と上市川小の統合は、中学校統合後では遅すぎる

教育長 子ども中心の教育環境の整備を第一に考える

質問

児童数の減少により切谷内小学校では複式学級が常態化し、今後その状況が続く見通しだ。

上市川小学校については当面複式学級にはならないものの、同じく児童数の減少は顕著である。

複式学級が必ずしも教育上、劣るものではないと思うが、多くの保護者から早期の統合を望む声が聞こえる。

教育委員会は川内地区の2つの小学校統合は、中学校の統合後できるだけ速やかに着手するところまで説明してきたが、それでは遅すぎるのではないかと考えるが、いかがか。

答 澤田教育長

小学校における統合計画では切谷内小と上市川小の統合時期について、当初「中学校統合後速やかに行う。」としたが、「それでは遅すぎる」旨の意見が複数あり、「ただし、できるだけ早く着手することを模索し目途がつき次第進める。」の文言を追記した。

先般の「川内地区小学校適正配置検討委員会」では校舎新築にこだわらず速やかな統合を望む意見が多く出された。

子ども中心の教育環境の整備を第一に考え、合意形成を図りながら、スピード感を持って川内地区の小学校の統合を進めていきたいと考えている。

県下町村議会議員研修会

令和6年7月17日、青森市での県下町村議会議員研修会に議員13名が参加し、国政についての現状と今後の見通しに関するお話を伺いました。

講演 「『日本政治の行方』～ズバリ解説！政局の焦点」

講師 政治ジャーナリスト 細川 隆三 氏

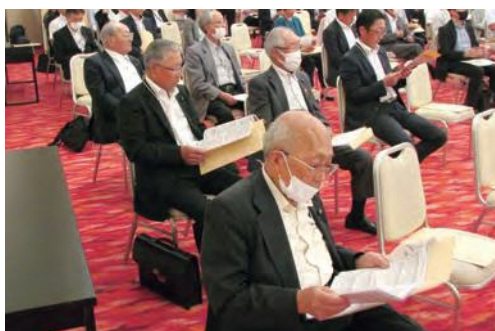


第30回連携中枢都市圏形成に関する勉強会

令和6年7月29日、五戸町での八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟主催による勉強会に議員13名が参加し、人口の動向や地方創生に向けた様々な取組について学びました。

講演 「人口減少下における活力ある多様な地域社会の実現に向けて」

講師 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局長 海老原 諭 氏



三戸郡町村議会議員研修会

令和6年7月30日、階上町での三戸郡町村議会議員研修会に議員10名が参加し、町にある観光資源の掘り起こしと活用について現地を見ながら学びました。

講演 「階上町の巨木・古木について」

講師 階上売り込み隊 会長 伊藤 武男 氏



新人議員研修会

令和6年8月20日、青森市(青森県労働福祉会館)において、青森県町村議会新人議員研修会が開催されました。五戸町議会議員からは、令和5年6月の補欠選挙で初当選した高奥浩明議員と、令和6年2月の一般選挙で初当選した佐々木喜克議員の2名が参加しました。

講演 「町村議会の権限・組織・運営」

講師 全国町村議会議長会 議事調査部

参与 赤羽 正法 氏

地方議会の位置付けや役割について、その基となる法令等も交えながら説明がありました。

今回の研修会では、地方自治法に基づいた議会の位置付け・権限・諸原則、それを実現するための議員の使命・権限・義務等について系統的に学ぶことができました。

この学びを生かして地域住民福祉の向上とより良い町づくりにつなげていきたいと思います。

(高奥浩明 議員)

法令遵守や、倫理についての講義を受け、議員としての役割と責任を再確認しました。住民の声を的確に反映し、誠実に行動することが求められていることを強く実感しました。

(佐々木喜克 議員)



編集後記

酷暑と言われた夏もようやく終わりを迎え、秋風が心地よく感じられる季節となり、今年も残すところ2か月となりました。

この度、初めて「議会だより」の編集後記を執筆することとなりました。初当選後、議会での活動が始まり、地域の皆様に支えられていることを日々実感しており、心より感謝申し上げます。

今号では昨年度の決算報告を中心に町の財政状況等をお伝えしました。これからも、健全な財政運営と地域の発展に向け、議員一同その役割を果たしてまいります。私も新たな視点を持ち、皆様の声をしっかりと議会に届けていく所存です。

季節の変わり目、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。次号も楽しみにしていただければ幸いです。

委員 佐々木 喜克

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月5日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和7年1月発行予定です。

広報常任委員会

委員 長 川 崎 七 洋	副委員長 豊 田 孝 夫	委員 佐々木 喜 克	委員 高 奥 浩 明	委員 柏 田 匡 智	委員 鈴 木 隆 也	発行責任者 議長 長 川 村 浩 昭
--------------	--------------	------------	------------	------------	------------	--------------------

令和6年10月25日発行